

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成20年1月17日(2008.1.17)

【公表番号】特表2007-520742(P2007-520742A)

【公表日】平成19年7月26日(2007.7.26)

【年通号数】公開・登録公報2007-028

【出願番号】特願2006-547242(P2006-547242)

【国際特許分類】

**G 02 B 26/10 (2006.01)**

**H 04 N 5/74 (2006.01)**

**G 03 B 21/00 (2006.01)**

【F I】

G 02 B 26/10 A

H 04 N 5/74 H

G 02 B 26/10 B

G 02 B 26/10 C

G 02 B 26/10 104Z

G 03 B 21/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成19年11月19日(2007.11.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

画像を投影面に投影するためのレーザービーム調整配列であって、

該配列は、

a) 複数の異なる方向に沿うように配向された複数のレーザービームをそれぞれ生成する複数の加圧可能レーザーであって、該複数の異なる方向は、互いに斜めになっている、複数の加圧可能レーザーと、

b) 軸の周りを振動可能な走査鏡であって、該走査鏡に入射する該レーザービームを、反射されたレーザービームとして反射するように作用する走査鏡と、

c) 該複数のレーザーに作用可能に接続されたコントローラであって、該コントローラは、該走査鏡の振動中に、複数の異なる時間に該複数のレーザーに加圧して、該反射されたレーザービームを共通経路にそって共線的に移動させ、投影面の共通点を照らし、該複数の異なる時間は、人間の眼には知覚不可能である、コントローラと

を備えている、配列。

【請求項2】

前記複数のレーザーは、異なる波長を有しており、前記複数のレーザービームは、異なる色を有している、請求項1に記載の配列。

【請求項3】

前記複数のレーザービームの前記複数の異なる方向は、前記走査鏡の前記軸において交差する、請求項1に記載の配列。

【請求項4】

前記複数のレーザービームは、前記走査鏡上の共通ビームスポットを照らし、

該走査鏡は、前記画像の一つの次元に沿って延びている走査線として、前記共線的に移

動する反射されたレーザービームを掃引し、

該一つの次元に直交する別の次元に沿って該走査線を掃引ことにより、走査線のラスターパターンを作成する別の走査鏡をさらに備えている、請求項1に記載の配列。

**【請求項5】**

前記コントローラは、前記走査鏡が前記軸に対して一つの角度位置にあるときに、前記複数の時間のうちの1つの時間において前記複数のレーザーのうちの1つのレーザーに加圧し、

該コントローラは、該走査鏡が該軸に対して別の角度位置にあるときに、該複数の時間のうちの別の時間において該複数のレーザーのうちの別のレーザーに加圧する、請求項1に記載の配列。

**【請求項6】**

画像を投影面に投影するためのレーザービーム調整方法であって、

該方法は、

a) 複数の異なる方向に沿うように複数のレーザービームを配向させるステップであって、該複数の異なる方向は、互いに斜めになっている、ステップと、

b) 軸の周りで走査鏡を振動させるステップであって、該走査鏡は、該走査鏡に入射する該レーザービームを、反射されたレーザービームとして反射する、ステップと、

c) 該走査鏡の振動中に、複数の異なる時間に該複数のレーザービームを生成して、該反射されたレーザービームを共通経路にそって共線的に移動させ、投影面の共通点を照らすステップであって、該複数の異なる時間は、人間の眼には知覚不可能である、ステップと

を包含する、方法。

**【請求項7】**

異なる色を有するように前記複数のレーザービームを構成するステップをさらに包含する、請求項6に記載の方法。

**【請求項8】**

前記レーザービームを生成するステップは、前記複数の異なる時間において、異なるレーザーに加圧することによって実行される、請求項6に記載の方法。

**【請求項9】**

前記複数のレーザービームの前記複数の異なる方向を配列することにより、前記走査鏡の前記軸において該複数のレーザービームを交差させるステップをさらに備える、請求項6に記載の方法。

**【請求項10】**

前記配向させるステップは、

前記複数のレーザービームを配列させて、前記走査鏡上の共通ビームスポットを照らすことによって実行され、

前記振動させるステップは、

前記画像の一つの次元に沿って延びている走査線として、前記共線的に移動する反射されたレーザービームを掃引することと、

該一つの次元に直交する別の次元に沿って該走査線を掃引して、走査線のラスターパターンを作成することと

によって実行される、請求項6に記載の方法。

**【請求項11】**

前記生成するステップは、

前記走査鏡が前記軸に対して一つの角度位置にあるときに、前記複数の時間のうちの1つの時間において前記複数のレーザーのうちの1つのレーザーを生成することと、

該走査鏡が該軸に対して別の角度位置にあるときに、該複数の時間のうちの別の時間において該複数のレーザーのうちの別のレーザーを生成することと

によって実行される、請求項6に記載の方法。